

●とびっくす●

令和5年度 通常総会開催

通常総会が5月27日に「ザ・グランドパレス徳島」にて開催されました。今年は長期化した新型コロナウイルス感染症も「5類」へ引き下げられ、3年ぶりに従来どおりの開催となりました。

はじめに、坂口会長より挨拶があり、続いて本会活動に貢献のあった10名の方々が会長表彰を受けました。

議事では、令和4年度事業報告、決算報告及びその他の議案が承認された後、令和5年度事業計画及び収支予算案も報告されました。

最後は、毎年恒例のラッキー抽選会が行われました。運命の女神ならぬ男神、板野支部の中野氏がガラガラ回す抽選器から次々と出る当選番号が発表されるたびに会場のあちらこちらから歓声が沸き起こりました。

結果は、特賞の iPad を賛助会員のクマリフト（株）の牛房さんが、一等賞は今年で抽選会の司会を卒業する徳島地域会の蓑田さんが当選されました。おめでとうございます。

総会の後は、後藤田新知事、岡田新議長、内藤市長会会長などのご来賓をお迎えして祝賀会が開かれ、旧交を温めたり新たな友情を結んだりにぎやかな夕べとなりました。



▲坂口会長挨拶



▲運命の男神・中野氏と最後の司会を務める蓑田氏



▲特賞が当選したクマリフトさん

会長表彰 被表彰者（順不同、敬称略）

徳島地域会	高田 義大
鳴門地域会	岡部江利子
小松島・勝浦地域会	西條 寛泰
阿南・那賀地域会	新開 裕
海部地域会	大羽 雅之
板野地域会	粟田 和展
美馬地域会	福井 政人
三好地域会	平岡 一志
青年委員会	丸元 寛文
	烏津 臣志



▲会長表彰



▲後藤田新知事祝辞



▲内藤市長会会長祝辞

●地域会だより●

新しくできた観光地那賀町を体験する

阿南・那賀地域会 武田 仁志

阿南・那賀地域会では、若者定住の促進、阿南那賀の魅力を活かした観光で阿南市の人口を増やし、建築士会の会員増加を目指しています。

今回、阿南那賀でアクティビティを通して、人口増加や阿南の自然の魅力を発信している「4 CORNER」にダウンリバー体験に行ってきました。

2022.7.16 阿南那賀のメンバーで那賀郡鷺敷町のB&G 海洋センターに集合。野外活動センターに移動し、パッククラフトをふくらませ、パドルの使い方、漕ぎ方、安全にダウンリバー（川下り）をするための注意点などを指導してもらい、お弁当を持ちいざ出発。



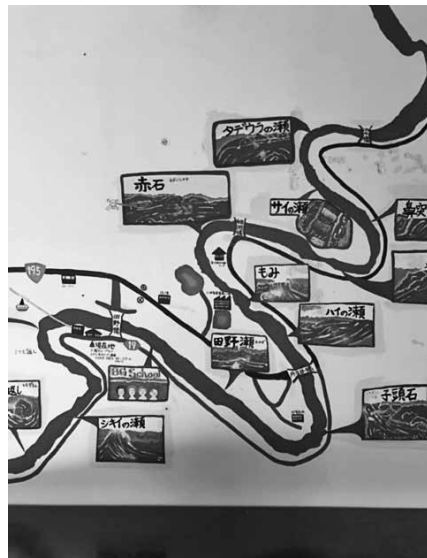
最初はなだらかな川の流れて、気持ち良く進んでいましたが、1番目の瀬もみの瀬

が近づくとつれて流れも速くなり、川の表情が変わってきました。最初にインストラクターがもみの瀬に入り、流れの緩やかな所で待機し、インストラクターのパドルが上がると一人ずつもみの瀬に入っていくというスタイルでした。いよいよ自分の番が来てもみの瀬にトライ。川の流れが波打つようにとても速くダイナミックな流れを経験しました。



2番目の瀬ハイの瀬もクリアし、しばらく下って行くと川の流れが緩やかになり、メンバー

のみんなも思い思いにパドルを使い楽しみました。丹生谷橋を越え、そろそろお昼の時間が近づいて来たころ3番目の瀬子頭石（こうずいし）の瀬が近づいてきました。右に大きく曲がっていて流れも速く、皆さん慎重にパドルを使い下っていきました。子頭石を下ったところでお昼休憩、岩の上に上がりお弁当をみんなで食べ、



いよいよ最終ゴール B&G に向かい下って行き、川の上には那賀高校のグラウンド、自然豊かな山々、澄んだ川の中には大きな岩がたくさんあり、川の上から見る景色とは全く違うものがありました。

4番目の瀬田野瀬を下り全員が無事ゴールできました。ダウンリバーで改めて阿南の自然の豊かさすばらしさを体験することができました。

阿南市は自然豊かな立地を生かし、海・川で SUP をとおして関係人口を創出する「阿南SUPタウンプロジェクト」に取り組んでいます。今回伺った「4 CORNER」では川をメインに SUP やパッククラフトでまちおこしをし、話題の水上スポーツを通して県内外からたくさんの方を呼び込んでいます。

「田舎には何もない」ではなく田舎だからできることのすばらしさを、地元の方には改めてこの良さを発見してもらい県外の方には多くの方に知ってもらいたいと思います。

皆さんぜひ大自然を味わってみてください。



●あなたが出番●

「あきや de マルシェ」マーケットイベント

徳島地域会 高田 哲生

市街地に点在する3つの空き店舗とひょうたん島まちなか再生機構の「まちの縁が輪」(旧森の元気)を利用して、2月25日26日の2日間「あきやdeマルシェ」マーケットイベントを開催しました。これは昨年度の地域貢献活動として徳島地域会で提案させていただいていた事業です。

空き店舗が目立つ市街地において、その有効利用のアイデアを提案できればということです。それぞれの空き店舗ではアクセサリ作家などに販売ブースを出展してもらい、スタンプラリーで様々な空き店舗を巡ってもらうという企画でした。

建築士会 PR 用のブースも設け、訪れた子供たちに「おもちゃの家を作ろう」ワークショップを開催したり、協賛していただいた男女参画委員会主催のミニ畳作成ワークショップを「まちの縁が輪」で開催してもらい、

ものづくりの楽しさと畳・和の空間の良さを再認識してもらえるように企画しました。広報としては市内全域の小学校へチラシを配布して家族での参加を呼びかけました。結果、このイベントへの参加者は約300人(スタンプラリーの提出数)で短期間ではありましたが、家族連れ、夫婦や友人同士で各店舗をまわってもらうことにより、市街地に緩やかな人の流れと賑わいの創出ができたのではないかと思います。

これは空き店舗の一つの利用方法としての提案でしたが、将来店舗を持ちたいと夢見る作家たちを招いて開催することにより空き店舗のオーナーにとっても長期賃貸への可能性を見出すことになるかもしれません。また、建築士会の先輩からは、災害が起きた時、判定士として来徳してくださる建築士のみなさんに宿泊施設として利用していただけるようなネットワークを構築することをご提案いただきました。オーナーの方のご協力を得られるのであればとても有意義な空き家活用となるのではないかと思います。

今後も空き店舗・空き家の有効利用について考え提案していきたいと思っておりますが、事業費を捻出できるような仕組みを考えていかないと継続は難しいと思っております。みなさまのお知恵をお願いします。



▲おもちゃの家づくりWS



▲ミニ畳作成WS

●ほっとにゆーす●

男女参画委員会2023新春会

美馬地域会 原田 功恵

美馬地域会でお世話になっている（株）上設計の原田功恵です。

今まで建築士会の行事に参加する機会があまりなかったのですが、4月から徳島市内に転居して、お友達の藤高亜紀さんが誘ってくれたこともあり、4月22日「Bar余白」で開催された男女参画6回目の新春会に初参加させていただきました。

徳島駅前通りから一本入った裏道から路地を抜け、古びた（失礼！）ビルの1階から石畳を抜け、竹小舞の扉を開くとカウンターの上部の木組みが美しくライトアップされた異空間が広がっていました。

理事の濱田さんより男女参画委員会発足して5年目になるとのご挨拶の後、島田さんの司会進行により、「Bar余白」の設計者である清水裕且さんのお話を伺いました。

清水さんより、住宅設計する上で「無農薬の白ごはん」を目指すよう心がけているというお話がありました。具体的には地元にある自然素材そのものを使う、物足りなさが丁度いいと思っている等々。美馬市の田舎で無農薬の米作り（農薬化学肥料等散布なしで手抜きと紙一重ですが、我が家のごはん最高！）をしている者として心に残る言葉をいくつも頂きました。

設計例として、センターに水回りを配し、周りを周回できるように動線や、筋交い等の斜材や接合金物は一切使用しない石場建ての柔構造（減衰設計）についての説明を受けました。正倉院（高床式倉庫）の住宅版で、現在でもこのような構造の住宅が建てられるのかと感心しました。

「Bar余白」については、出入口の竹小舞の建具は隙間から内部の木組みがチラチラ見える効果を考え、通路



の突き当たりの真鍮壁は日本の屏風を表現しており、真鍮の質感がアクセントになる等、今後の内装素材を計画する上で参考になりました。

ところで、2階の特等席を陣取りおいしいお弁当を食べながら、ふと周りを見ると皆さん美味しいお酒に舌鼓。「なるえも呑まんでえ〜」との甘い言葉に誘われて普段呑まない私も美味しく頂きました。アフターコロナの予行演習をさせていただき、大変楽しいひとときでした。今後こういった場で皆さんとより深く交流できる事を楽しみにしております。



最後に5月22日グランドオープンの肉割烹「奥」の施工中の状況を見学させていただき、大変充実した一日となりました。ごちそうさまでした。



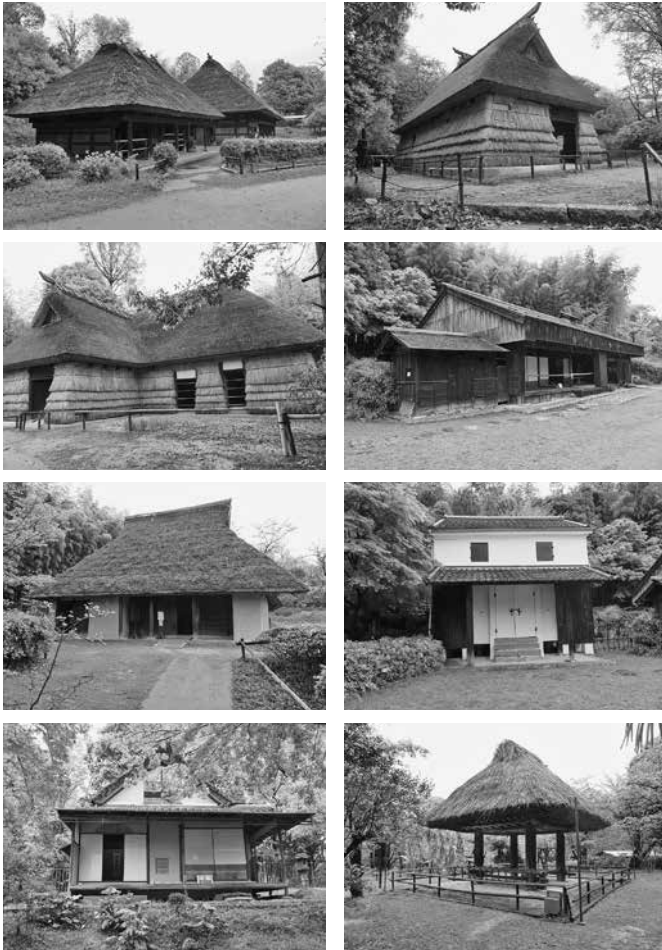
●ほつとにゆーす●

阿波のまちなみ研究会 県外研修

阿南那賀地域会 藤高 亜紀

4月15日、阿波のまちなみ研究会、県外研修旅行に参加させていただきました。あいにくの雨でしたが、久しぶりの関西方面。とても楽しみにしていました。

まずは日本民家集落博物館に行きました。日本各地の代表的な12棟の民家を、服部緑地の一角に移築復元し、関連民具とあわせて展示している屋外博物館です。北は岩手から南は奄美大島の民家があり、地方固有の風土や習慣など、当時の人々の生活がうかがえ見応えのある博物館でした。



各地の民家や茶室、蔵など。

その後、大阪中央公会堂内にあるレストランで、名物のオムライスを頂き、展示室では公会堂に関する歴史や品物を見学することができました。

次に、大阪くらしの今昔館に行きました。大阪市の都市居住に関する、歴史と文化をテーマにする博物館です。

江戸時代の大阪の街並みを実物大に復元されており、

表通りには賑やかな商家が建ち並び、裏通りには長屋ぐらしの風景がたのしめました。町家の生活道具や調度類はすべて実物資料であり、いろんところに動物もいたりして、演出が面白かったです。訪れた時は「昼間」の街並みでしたが、次第に夕焼けになりお月様が出ました。季節の変化もあるらしく、体感するミュージアムでした。



他にも、明治・大正・昭和の大阪のまち・住まいと暮らしを展示していました。建物や暮らしぶりなど細かく再現した「住まいの大阪六景」の模型。文明開化から大大阪への発展、そして戦災と戦後の復興への歴史が、模型で表現されていました。人々の表情もとてもリアルで自分もその街にいるような感じになりました。



帰りに舞子公園にある、孫文記念館と旧武藤山治邸に寄りましたが、時間があまりなく残念でした。

でも、とても濃厚な1日で楽しかったです。

まち研の皆様、ありがとうございました。



●士会だよりー広報渉外委員会●

1 建築士の日

毎年「7月1日」は「建築士の日」と定められています。これは「建築士法」が昭和25年7月1日に施行されたことを記念して定められたものです。その目的は、「建築士制度を社会に広くPRし、われわれ自身も改めて建築士の意識を再確認する」というものです。

2 「建築士の日」への取り組み方針

私たち建築士には、厳しい試験に合格し、その後も研鑽を積んできたという誇りがあります。その特別な存在である「建築士」が加入できる「建築士会」を中心に、建築士の役割や能力を積極的に発信しようではありませんか。そのことによって、建築士一人ひとりが輝き、建築士会が輝くこととなります。

そこで本県では、「建築士の日」を機会にイベントを実施し、「建築士制度を社会に広くPRし、われわれ自身も改めて建築士の意識を再確認」したいと考えています。

このため、次のような事業を行うこととしています。

(1) 毎年7月1日には、「あなたのまちの建築士」と書いた黄色いポスターを、それぞれの会員が自宅や事務所に掲げて、地域の身近なところに建築士が住んでいることをアピールする。

(2) 建築士をアピールするためのイベントの実施

3 今年度のイベント

■ タイトル 「建築SDGs」

ー 持続可能な未来のために建築が果たすべき役割

と き 7月1日(土) 14:00～16:30

ところ 徳島県木材利用創造センター
林業人材育成棟

■ テーマ

世界が目指しているSDGsは、持続可能な未来のための処方箋です。そんな中、多くの資源とエネルギーを消費することが宿命づけられている建築は、そもそも持続可能な社会の構築においては必要悪なのでしょうか。

建築に携わる者は、どうすれば「SDGsを実践しています」と胸を張ることができるのでしょうか。つまり、単なる省エネ建築でお茶を濁すのではなく、という意味で。

そんな話を聞きに来ませんか。

■ セミナー1

「SDGs建築賞『戸田建設技術研究所グリーンオフィス棟』の概要と戸田建設のSDGsへの取り組み」

村江行忠 戸田建設株式会社技術研究所所長

■ セミナー2

「地方から取り組むSDGs」

島田治男 島田治男建築設計事務所代表

建築士会本部行事

令和5年6月		令和5年7月	
7日(木) 建築士定期講習 (建設センター)		2日(日) 二級建築士試験(学科) (建設センター)	
10日(日)～11日(日)		6日(木) 既存住宅状況調査技術者講習 (士会会議室)	
青年・女性建築士のつどい		12日(木) 建築相談 (士会会議室)	
中国四国ブロック大会 徳島大会 (藍住町総合文化ホール他)		13日(木) 監理技術者講習 (士会会議室)	
14日(木) 建築相談 (士会会議室)		23日(日) 一級・木造建築士試験(学科) (建設センター)	
20日(木) 建築士定期講習 (建設センター)		26日(木) 建築相談 (士会会議室)	
26日(月)～27日(火)			
国四国ブロック会長会議 (ホテル千秋閣)			
28日(木) 建築相談 (士会会議室)			

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 建築相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。

4 過去のイベント

■ 平成27年度

7月18日に「建築の古今、そして未来は」と題して、BIMセミナー、大工技術の紹介などのイベントを実施しました。

■ 平成29年度

7月1、2日に、あすたむらんど徳島四季彩館で、各研究会のパネル展などを行いました。

■ 令和元年度

6月30日に、「徳島の近代建築を見てみよう!」と題して、近代建築の見学会などを行いました。

■ 令和4年度

6月18日に、BIMセミナーをアスティとくしまで開催しました。

●士会だよりー徳島支部●

建築士会まちなみ連2023のご案内

徳島支部「まちなみ連」にとって暑い夏が帰ってきました。今年は8月12日(土)と14日(月)の両日に徳島市の演舞場や広場に繰り出す予定です。当日は懇親会で気分を上げた後、街に繰り出します。本番に先立ちまして厳しい6日間の練習を下記の場所、日時で行います。初めての方も、お子さん、多くの会員の方のご参加お待ちしております。

なお、今年も参加には事前に申込が必要となっております。当日の飛び入り参加はできない場合がございますのでご了承ください。

まちなみ連の阿波おどりで県民、観光客に建築士会を大いにPRしましょう!!

[練習] 場 所	徳島中央公園鶯の門広場
日 付	7月 20、25、27日 8月 1、3、8日の火・木曜日
時 間	18時30分から20時
[本番] 場 所	建設センター6階に集合
日 時	8月12日(土)、14日(月) 16時
参加費	男性 : 2,000円 女性・学生 : 1,000円 子供(小学生以下) : 無料

[お問合わせ先]

徳島支部事務局 TEL:088-653-7570
FAX:088-624-1710

編集後記

- ・近所で棟上げが2件あり、どちらも、まず足場が立って、それから柱や屋根を組んでいました。安全への配慮に感謝です。(ノーツ号)
- ・近所がどんどんいなくなる。(ペペい)
- ・僕の周りもどんどんいなくなる。(酎西)
- ・どんどんどん〇〇キー (ひとはたうさぎ)